

科目名:保育内容（造形表現）の指導法

No.	到達目標	評価基準				
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C 様々な材料の特徴や用具の取り扱いの方法を理解できる。	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	発達段階にともなう造形表現の変化と特徴を理解し、今日子ども達の環境を考慮した造形表現のあり方について考察できる(D)	発達段階にともなう造形表現の変化と特徴を理解し、子ども達の環境を考慮した造形表現のあり方について客観的で具体的な考察ができる	発達段階にともなう造形表現の変化と特徴を理解し、子ども達の環境を考慮した造形表現のあり方について客観的な考察ができる	発達段階にともなう造形表現の変化と特徴を理解し、子ども達の環境を考慮した造形表現のあり方について考察ができる	発達段階にともなう造形表現の変化と特徴を理解し、子ども達の環境を考慮した造形表現のあり方について最低限の考察ができる	発達段階にともなう造形表現の変化と特徴を理解し、子ども達の環境を考慮した造形表現のあり方について考察できない
2	造形活動のための環境の整え方と実践的な援助力を身につける(C-2)	子どもたちへの十分な理解をともなった適切な形活動のための環境の整え方と実践的な援助力を確実に身につけている	子どもたちへの理解をともなった造形活動のための環境の整え方と実践的な援助力を身につけている	造形活動のための環境の整え方と実践的な援助力を身につける	造形活動のための環境の整え方と実践的な援助力を最低限身につけている	造形活動のための環境の整え方と実践的な援助力を身につけていない
3	活動の内容と制作物に対して評価することができる(D)	活動の内容と制作物に対して十分な理解とともに適切な援助を伴った評価を伴ったことができる	活動の内容と制作物に対して十分な理解のもとに評価することができる	活動の内容と制作物に対して評価することができる	活動の内容と制作物に対して最低限の評価をすることができる	活動の内容と制作物に対して評価することができない

評価方法			
発表内容 20%	造形活動計 画20%	制作物40%	活動の振り 返りレポー ト20%
○			
	○	○	
			○